

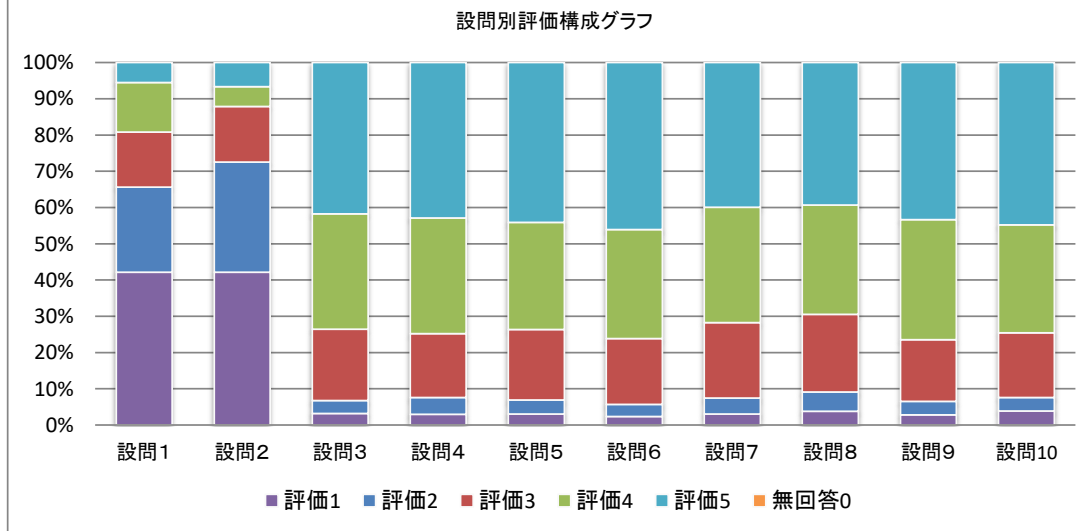
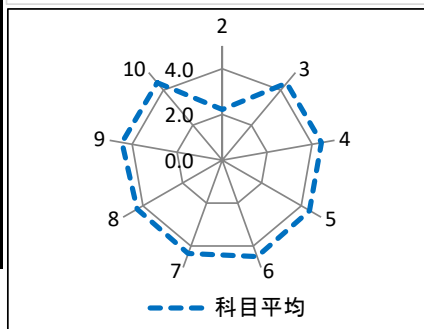
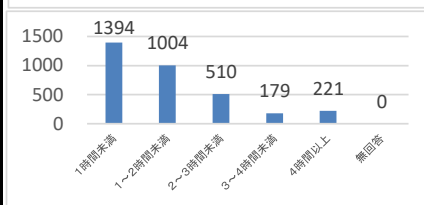
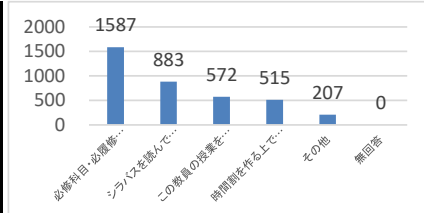
愛知文教大学 2021年度 春期 授業調査アンケート集計結果（全開講科目）

【全210科目】		(2020秋期)	(2020春期)	(2019秋期)
■アンケート回答者数	3308 人	3049人	3732人	3235人
のべ受講者数	4227 人	4046人	4539人	3916人
回答率	78.3%	75.4%	82.2%	82.6%

〈補足〉
 1. 評価平均は、評価1×1、評価2×2、評価3×3、評価4×4、評価5×5として計算し、無回答は計算対象からはずしてあります。
 2. 受講者数は、アンケート実施科目の履修登録者数を合計しています。
 3. ゼミなど回答者数が5名以下の科目についても、本集計データに含まれています。

■設問別評価集計表

アンケート設問内容		全体の平均値	評価構成(件数)					無回答
			必修科目・必修科目だったから	シラバスを読んで興味を持ったから	この教員の授業を受けたかったから	時間割を作る上で好都合だったから	その他	
設問1	あなたが、この授業を履修した理由は何ですか(複数回答可能)		1587	883	572	515	207	0
		全体の平均値	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3~4時間未満	4時間以上	無回答
設問2	この授業に対する1回分(90分)あたりの事前事後学習(宿題を含む)は、平均してどれくらいですか？	2.0	1394	1004	510	179	221	0
		全体の平均値	評価1 そう思わない	評価2 あまりそう思わない	評価3 どちらともいえない	評価4 そう思う	評価5 大変そう思う	無回答
設問3	担当教員は、この授業の学習目的や必要性を十分に説明してくれましたか。	4.0	104	119	652	1052	1381	0
設問4	担当教員は、この授業が理解しやすいように、教え方(教材や実演など)の工夫をしていましたか。	4.0	97	153	583	1057	1418	0
設問5	担当教員は、学生からの質問やレポートなどの提出物に対して、よく対応(フィードバック)してくれましたか。	4.0	100	129	643	977	1459	0
設問6	担当教員は、この授業をシラバスの計画にそって行いましたか。	4.0	78	111	600	995	1524	0
設問7	あなたは、この授業を、やる気を持ってまじめに受けることができましたか。	3.9	100	146	688	1054	1320	0
設問8	あなたは、この授業を受けて、その内容に興味を持ち、学修したい気持ちが増えましたか。	3.8	125	177	708	997	1301	0
設問9	あなたは、この授業を受けて、新しい知識、技術、能力を得る事ができましたか。	4.0	93	124	561	1097	1433	0
設問10	あなたは、この授業に満足しましたか。	3.9	127	124	591	985	1481	0



全開講科目中
評価3以下の項目

設問2	72%
設問3	7%
設問4	8%
設問5	7%
設問6	6%
設問7	7%
設問8	9%
設問9	7%
設問10	8%

令和3(2021)年度「春期 授業調査アンケート」の総評

- ★ 期間：令和3年7月22日（木）～7月28日（水）の最終授業日に実施
- ★ 実施方法：新教務システム「Active Academy」でのWeb実施（無記名式）
- ★ アンケート数：

項目	総科目数	述べ受講者数	回答者数	回答率	未回答率
令和3(2021)年 春期	210	4,227人	3,308人	78.3%	21.7%
令和2(2020)年 秋期	200	4,046人	3,049人	75.4%	24.6%
令和2(2020)年 春期	191	4,539人	3,732人	82.2%	17.8%
令和元(2019)年 秋期	190	3,916人	3,235人	82.6%	17.4%

- ★ 設問数は10、設問1～2のほかに設問3～10の回答・評価は、「評価1(そうは思わない)」→ 評価2 → 「評価3(どちらともいえない)」 → 評価4 → 「評価5(大変そう思う)」である。

【総評】

令和2年1月頃からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い全国の大学では対面授業からオンライン授業、そして、対面授業とこれまでの高等教育機関では想定していない教育環境となっています。このような環境変化であっても、本学は「学生の満足度を高めること、教育の質保証、学生の声を聴取する」が重要であることを認識してアンケートを継続的に実施しています。したがって、この結果を真摯に受け止め日々の教育研究活動に邁進することをさらに望みます。なお、今春期のアンケートから5人以下の受講者を含め「全ての結果を担当教員に知らせる」こととし、また、①シラバス記載内容の統一化、②履修者数5人以下の開講科目でもアンケートの実施、③Webでの回答方式が定着してきたなど、PDCAサイクルに基づく改善が一步一步進捗しています。一方、回答率はWeb実施前の紙ベースと比較すると約5%低くなっている課題も浮かび上がっており、改善を図ることに期待します。

各設問の着眼点は、以下です。

【設問1】「あなたが、この授業を履修した理由はなんですか」（複数回答）

時間割を作成するにあたり、約14%の学生は「時間割を作る上で好都合であったから」と回答しており、「その他」と合わせると約20%に及んでいる。このことから今後カリキュラムポリシーとディプロマポリシーとの整合性を鑑みた時間割編成に期待したい。

【設問2】「この授業に対する1回分(90分)あたりの事前事後学習(宿題を含む)は、平均してどれくらいですか」

事前事後の学習状況は、平均2時間で昨年度の秋期と同じであった。コロナ禍でのオンライン授業、今春期の対面授業も同じであることから、今後学習への取り組みに期待したい。なお、「4時間以上」の事前事後の学習をしている学生が、昨年度秋期約2%から今春期約7%とアップしていることは大いに評価できる。

【設問3】「担当教員は、この授業の学習目的や必要性を十分に説明してくれましたか」

評価5～4の回答者は2,433人、73%と高い評価であるが、昨年度の秋期75%、春期77%と比較すると低下傾向である。

【設問4】「担当教員は、この授業が理解しやすいように、教え方(教材や実演など)の工夫をしましたか」

昨年度の総評で「学生の満足度を高める工夫をさらに行う」ことを提起したが、今春期の評価5～4の回答者は2,475人、75%である。昨年度の秋期76%、春期78%と比較すると低下傾向にある。

【設問5】「担当教員は、学生からの質問やレポートなどの提出物に対して、よく対応(フィードバック)してくれましたか。」

評価5～4の回答者は2,436人、74%である。昨年度の秋期76%、春期75%と比較すると凹凸であるものの、教員はよく対応(フィードバック)している。

【設問6】「担当教員は、この授業をシラバスの計画にそって行いましたか。」

一昨年度、提起した「学生は、シラバスを利用した学修成果が求められる。」「教員は、シラバスを活用し、理解を深める努力することが望まれる。」の2項目は、比較的良い結果で推移しており、評価5～4の回答者は2,519人76%、昨年度の秋期78%、春期78%で概ね同レベルである。今後は、80%を超える授業展開(シラバスに沿った授業)に期待したい。

【設問7】「あなたは、この授業を、やる気を持ってまじめに受けることができましたか」

評価5～4の回答者は2,374人、72%。昨年度の秋期75.37%、春期74.46%と比較すると低い。評価3～1に回答した学生が28%(昨年度の秋期25%、春期26%)存在しており、学生の「やる気を持ってまじめに受けること」が求められる。

【設問 8】「あなたは、この授業を受けて、その内容に興味を持ち、学修したい気持ちが増しましたか。」

評価 5～4 の回答者は、2,298 人、69%。過去、最も低い(昨年度の秋期 72%、春期 70%)結果となっている。このことから、カリキュラムを編成する上でカリキュラムポリシーやシラバスで記載内容をガイダンスするなど、事前に丁寧な説明が求められる。

【設問 9】「あなたは、この授業を受けて、新しい知識、技術、能力を得ることができましたか」

評価 5～4 の回答者は、2,530 人、76%(昨年度の秋期 77%、春期 77%)で、同数値で推移している。

【設問 10】「あなたは、この授業に満足しましたか」

評価 5～4 の回答者は、2,466 人、73%(昨年度の秋期 75%、春期 76%)。今春期は、昨年度から 2～3%低い結果である。評価 3 の回答者「どちらともいえない」は、18%(昨年度の秋期 17. %、春期 16%) おり、評価 5～3 を含めると 91%の学生が満足している。なお、設問 8～9 との回答(率)との矛盾が生じている。

[次年度(2022・令和 4 年度)への取り組み]

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">① コロナ禍であるが、学生の事前事後の自学自習が大切であることを丁寧に説明する。② 学生からの提出物についてはフィードバックをする。③ 自ら授業に取り組むことができる教育環境づくりを推進する。 |
|--|

以上